



もみの木歯科では、衛生管理の取り組みとして、今までも標準的な感染予防策の徹底（スタンダードプリコーション）を行ってきました。新型コロナウイルス感染症については、感染がさらに拡大し、自覚症状のない患者さんが来院する可能性がある以上、定期健診を含めた歯科治療、訪問診療等に関する感染リスクが高くないかと心配される方も少なくないと思います。

しかし、コロナウィルス感染症発生当初より、当院でも安心して治療を受けていただくために、スタッフと共に今まで以上に感染対策に力を入れてきました。

全国をみても発生当初から現時点まで歯科治療を通じての患者さんの感染の報告はないという事実があります。

それは各歯科医院が、上記に示したようなスタンダードプリコーションを徹底していることが感染リスクを抑えているということだと思っております。

もちろん、まだまだ安心できる段階ではなく、気を引き締めて行動をしていかなければなりません。当院としては、今後も歯科からできる感染予防として、コロナ感染対策を含めた口腔の衛生管理を意識し日々の歯科治療をおこなっていきたくと考えています。

医療法人 もみの木歯科 院長 村田 幸一朗

歯科治療・メンテナンスについて

お口のケアは 命を守ることにつながります



歯科治療やお口のメンテナンス・クリーニングは新型コロナウイルス対策としても重要な役割を担うほか、様々な全身疾患の予防につながります。

ウイルス感染予防



お口が不潔だと、口に入ってきたウイルスが感染しやすくなります。お口の健康はウイルス感染の水際対策です。

誤嚥性肺炎予防



食べ物や唾液が誤って気道に入った際にお口が不潔だとお口の中の細菌が肺に至ります。

低体重児出産予防



妊娠している女性が歯周病に罹患している場合、低体重児出産となる危険率は約7倍となり、喫煙やアルコール、高齢出産よりはるかに高くなります。

新型コロナウイルス肺炎の重篤化予防



誤嚥性肺炎を発症している状態で新型コロナウイルスに罹患すると重篤化につながります。（イギリスの医学冊子「ランセット」より）

認知症予防



歯がほとんどなく入れ歯を使用していない人は、20本以上歯が残っている人に比べて1.9倍認知症の発症率が高くなるというデータがあります。

脳梗塞・心筋梗塞予防



歯周病菌は血液をめぐる血栓を作り脳梗塞や心筋梗塞の原因にも。糖尿病の悪化原因にもなる事が分かっています。

新型コロナウイルスはスグに無くなるものではありません。しっかりと対策をしながら、うまく付き合っていく必要があります。お約束をキャンセルされた方や「落ち着くまで行くのを控えよう」と思われていた方も、再度のご予約をお取り頂きますようお願い致します。

新型コロナウイルス禍における もみの木歯科の診療体制について

当院の診療体制について

新型コロナウイルスの感染を予防するための対策をご紹介します。

スタッフによる感染対策



毎朝の検温



うがいの徹底



手洗いの徹底



手指消毒の徹底



フェイスガード
ゴーグル
マスク着用



グローブ着用
肘までガード



足先が
覆われた
シューズ着用

診療台の感染対策



消毒



バリア



口腔外バキューム



口腔内バキューム



フラッシング



清掃



換気



空気の停滞防止

治療器具の滅菌体制



自動注油器



超音波洗浄器



ホルマリンガス滅菌器



高圧蒸気滅菌器



高圧蒸気滅菌器



器具は一人ごとに滅菌

環境感染対策



雑誌等の撤去



手指消毒のお願い



検温のお願い



抗菌テープ



次亜塩素酸水の効果実証を
報じた新聞(沖縄タイムス)



新型コロナウイルスにも効果が実証された
次亜塩素酸水の常時噴霧

患者様へお願い

新型コロナウイルスの感染を予防するため受診の際には以下の内容をお守りください。

①受付前に手指のアルコール消毒を行う

※受付に設置してあります手指消毒用アルコールをご利用下さい

②非接触体温計による検温のお願い

※受付スタッフが対処させていただきます

③問診票記入のお願い

※当日の体調等をお伺いいたします

④院内では目・鼻・口を触らないように意識する

※できるだけティッシュを介して触れるようご協力お願いいたします

⑤多くの方が触れる可能性が高いドアノブ、手すり、壁などを手で極力触れないようにする

※触れた後はアルコール消毒をお願いいたします

歯科医院での感染状況について

歯科医院における新型コロナウイルス感染を心配されている患者様も多いと思いますが 2020年5月22日現在

日本全国の歯科医院において

患者様への感染は

1件も報告されておられません。

歯科医院内での複数人感染の報告はすべて

スタッフからスタッフへの感染であり

歯科治療が原因ではなく、昼食時の距離などが原因の一般的な感染と考えられます。

当院ではこのような感染を防ぐために以下の対策を講じています。

スタッフルーム
内での
マスク着用



休憩中も
2m以上の
距離確保



休日の
移動・行動の
申告と制限



正しい知識
とリスクの
理解

